

じゃがまるグラタン

食品加工コースでは定期的に本校給食用のパンも製造しています。材料には農業生産コースの新鮮な野菜や果物を選び、心を込めて作っています。何と言っても焼き立てだから美味しいんです！

食品加工コース

成形し、二次発酵を終えた「じゃがまるグラタン」は230℃のオーブンで約10分焼きます。焼き上がった「じゃがまるグラタン」は粗熱を取り、生徒たちが待つ食堂へ運びます。

工程	計量・こね	一次発酵	成形	二次発酵	焼成

トマトソース

山梨市にある「飯嶋農園」のミニトマトで作ったソース。「アイコ」特有の甘さがありフルーティーさを演出

10月3日(金)給食メニュー

- ・じゃがまるグラタン ・牛乳
- ・鶏もも肉と豆のトマト煮 ・きのこスープ
- ・花野菜ツナサラダ ・バナナ 711kcal

大解剖

パン生地

山梨県北杜市産小麦「かいほのか」80%に北海道産小麦20%をブレンド



ジャガイモ

ニンニク&タマネギ

ホワイトソースには本校農場で収穫したニンニクとタマネギがたっぷり…

ジャガイモの品種は次の4種…
「ビルカ」「タワアルタイル彦星」「シャドークイーン」「キタアカリ」。
ジャガイモの上にはチーズがとろ～り

	4月	5月	6月	7月
収穫		◆ ジャガイモ		
			◆ ニンニク	
			◆ タマネギ	

農業生産コース

本校の取組が「**やまなし in depth**」に取り上げられました

やまなし
in depth

山梨県政の
深層と真相がわかる

夏休みの宿題がコンビニ商品に
「地域の誇り」を広げる、
桃花台学園×ローソンのコラボパン



山梨県「やまなし in depth」
山梨県庁が運営する情報サイト



山梨県立高等支援学校桃花台学園
県内唯一の軽度知的障害特別支援学校



学校紹介や学校生活最新ブログ、進路指導や教育相談、
行事等のお知らせ、入試情報は **こちらからご覧ください。**



学んでいることを教え合い 新たな学びに

桃花台学園
産業技術科

笛吹高等学校
総合学科

9月30日（火）環境メンテナンスコース所属2年11人の生徒が笛吹高等学校（以下、笛吹高校）を訪問し、総合学科人間科学系列生活福祉コース所属3年21人の生徒と交流及び共同学習（以下、交流）を行いました。

環境メンテナンスコースが笛吹高校と交流するのは初めて。交流は互いの学校で学んでいる実習の内容を教えながら活動しました。

環境メンテナンスコース生徒は窓清掃について、生活福祉コース生徒はベッドメイキングについてその手順やポイントなどを相手に分かるよう伝えました。🔗



▲スクイージーにリーチポールを取り付けて、生徒玄関の窓をきれいにする両校の生徒

▼校長室の外窓を拭き、布が真っ黒になり驚く笛吹高校生徒



笛吹高校生徒がスクイージーを使って生徒玄関の窓ガラスを清掃する。その様子を見守る本校生徒（左）＝令和7年9月30日 笛吹高校生徒玄関

桃 ……本校生徒感想 **笛** ……笛吹高校生徒感想

感想は振り返りシート等から抜粋。一部修正し、なるべく原文のとおりに掲載

桃 大きい窓の時、道具の付け方や拭き方の教え方を
もっと分かりやすくできればよかった。

笛 一緒に清掃しながら、窓清掃の細かいコツを教えてくれたので、学びが増えて嬉しかった。

桃 ていねいにやさしく教えられたのでよかった。

交流及び共同学習に思う 校長 木村 則夫

交流及び共同学習はインクルーシブ教育システムの構築のために、小学校や中学校、高等学校の学習指導要領の総則で、「障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすること。」と述べられています。あわせて、特別支援学校の学習指導要領では「生徒の経験を広げて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、学校の教育活動全体を通じて、小学校の児童又は中学校・高等学校の生徒などと交流及び共同学習を計画的、組織的に行うとともに、地域の人々などと活動を共にする機会を積極的に設けること」とされています。

昨年度から始まった、笛吹高校食品化学科と本校食品加工コースとの授業における交流に加え、本年度は笛吹高校総合学科生活福祉コースのベッドメイキングと本校環境メンテナンスコースの窓清掃をお互いに教え合う交流を実施しました。今後も交流及び共同学習により、多様性を認め合い、豊かな人間形成に大いに期待しているところです。



**山梨県立
高等支援学校桃花台学園**
笛吹市石和町中川1400

平成27年度開校 県下唯一の高等部のみ
の知的障害特別支援学校。産業技術科を設置し
専門教科を開設している。本年度の全校生徒
114人で、卒業後は企業への就労を目指す。

専門教科では2年次からコース制を敷き、食品
加工コース、農業生産コース、環境メンテナンス
コースに分かれ、専門分野に関する実習を行う。

本年5月創立10周年記念式典挙行。
学校マスコットキャラクターは「こもも」



✔それぞれがどのように話し掛け、かかわったらよいのか迷っていたのがまるで嘘のように、窓清掃やベッドメイキングの活動が始まると自然に会話が生まれました。「窓の隅までしっかり水で濡らさないといけないんですよ」や「スクイジーが届かないところではリーチポールを使うと便利です」、「シーツにしわがあると褥瘡ができてしまうの。だから、しわができないように引っ張ってね!」やボディメカニクスを活用して作業するとよいなど進め方やその理由、注意点について双方から説明しました。

本校生徒はベッドメイキングの説明を聞きながらメモを取ったり、笛吹高校生徒は清掃の手順が分からなくなると質問したりするなどし、両校の生徒が学び合おうとする姿が随所で見られました。



シーツのたたみ方について説明を聞き、笛吹高校の生徒と一緒に作業する本校生徒（右から2番目）＝笛吹高校福祉実習室



ベッドメイキングの実習前のひとコマ。レクリエーションをしながら談笑する両校生徒



笛 真剣に私たちの話を聞いてくれ、実践で取り組む姿からも挙げたポイントを意識してやってくれていてとてもやりがいを感じた。

桃 やさしく分かりやすく教えてもらったのできれいにたたむことや敷くことができた。

笛 説明がうまくできなかったけど、分からない所は質問をしてくれたり、ポイントを教えると、みんなメモをしてくれて、頑張って説明用紙を作って良かったと思った。

桃 専門用語があったり、色々な意味があって驚いた。シーツを三角に折って入れるのが難しかった。



笛 説明をしっかりと聞いて、前向きに取り組んでくれて嬉しかった。今回の事が役立つと良いと思う。

*両校の全校生徒数は令和7年5月1日現在



山梨県立笛吹高等学校

笛吹市石和町市部3

前身となる山梨養蚕教習所が明治28年度開所。昭和25年度山梨県立石和高等学校に改称した。昭和36年度当時の石和高等学校の農業課程を山梨県立山梨園芸高等学校と改め開校した。石和高等学校と山梨園芸高等学校を統合し、平成24年度に笛吹高等学校が開校。

普通科、食品化学科、果樹園芸科、総合学科の4学科設置。総合学科には4系列あり、人間科学系列内に生活福祉コースはある。

全校生徒644人。

本年6月創立130周年記念式典挙行。

学校マスコットキャラクターは「ももりん」



「接客・ビジネス実務」は、1年生から3年生までの全学年が毎週2時間ずつ学ぶ専門教科です。

事務用品の扱いや接客のやり方、働く上でのルールやマナーなど、仕事に役立つ力を段階的に身に付けていきます。3年生になると、より実践的な業務を行い、仲間と協力する力も高めます。社会に出るための力が身に付くように、ときには学年を越えて協力する場面も設定します。

多くの生徒が「コミュニケーションが苦手…」と言います。一方で企業の方からは「まずは元気なあいさつが大事!」とよく言われます。この授業のはじめには、「仕事で使う大切な言葉」をみんなで声に出して確認する時間があります。たとえば、「お願いします」「ありがとうございます」「分からないので教えてください」「次は何をすればよいですか」など、社会で働くときに必要な言葉を、毎週くり返し練習します。言葉の使い方の「コツ」にも意識を向けます。相手の目を見て話す、笑顔で伝えるなど、「質」も高めます。少しレベルの高いコミュニケーションとして「お話し中、失礼します」という言葉があります。相手を気遣いながら必要なことを伝えようとする言葉です。生徒たちがこうした言葉を自然に使えるようになり、「一生使える言葉」として身に付けて社会に出ていけるようにと願って指導しています。

◆いしだ りょうこ 本校11年目 好きな給食メニュー「唐揚げのレモン和え」

進路と向き合い「自分を知る」授業

3年担任 古屋 智子

3年生では卒業後の進路決定を目指し、6月と10月に3週間の現場実習を行っています。現場実習では、作業の技術だけでなく、働く習慣や職場でのルール、コミュニケーションの取り方など、社会で働くために必要な力を幅広く学んでいます。

職業の授業では、日常生活や現場実習を振り返りながら自己の適性や特性を知り、自分の得意なことを自信をもって伝える力、苦手なことに対してどのような支援があればスムーズに取り組めるかを考える力を育てています。学校では当たり前を受けられる支援も、社会に出ると少しずつ減っていくことがあります。自分に自信がもてず、受動的になってしまう生徒も少なくありません。授業の中では、職場の方とのやり取りを想定したロールプレイングや、自己の状況を適切に伝える練習などを取り入れ、必要なときに自分から連絡・相談・報告ができる力を身に付けていけるよう取り組んでいます。

また、より良い社会参加のためにはコミュニケーションが欠かせません。挨拶は「コミュニケーションの第一歩」であり、相手との関係づくりのきっかけにもなります。挨拶の仕方ひとつで、その人の第一印象が決まることもあります。職業の授業でも、始まりや終わりの挨拶を大切に、気持ちの切り替えを意識するよう指導しています。

今後も、生徒一人一人が自分の将来を主体的に考え、社会の中で自分らしく生きていくための力を、授業を通して丁寧に育てていきたいと考えています。

◆ふるや ともこ 本校4年目 好きな給食メニュー「農場で採れたジャガイモが入ったカレーライス」



企業対象学校説明会

桃花台歳時記

『障害者雇用』について 一緒に考えてみませんか

11月11日(火) 9:30~12:00

企業の方を対象にした学校説明会を開催します。
本校や生徒のことを知りたい。障害者雇用について学び、
情報を共有したい方はこの機会にぜひご参加ください。

当日は、本校の概要説明、山梨県障害者センターから
各種制度や障害者雇用の進め方についての説明、各企業
担当者間で障害者雇用に関する疑問や悩み、先行事例の
情報交換会などを行います。

会の詳細はこちらからリーフレットをご覧ください。



9月下旬からほんのり甘い香りが校内に漂うようになりました。その主はキンモクセイ(金木犀)です。本校にはキンモクセイの木が何本か植わっていますが、その中でも生徒玄関前の木は大きく、高さ6メートルを超えます。

昨年5月には創立10周年記念の一環でキンモクセイの木を3本植樹しました。まだ幼木ではありますが、オレンジ色の花をたくさんつけ、校舎内外に秋の香りを届けています。

天つつぬけに木犀と豚にほふ

飯田 龍太

